

金融業界様向け

THE POSSIBILITIES ARE INFINITE FUJITSU

利便性の追求とIT統制を両立する

Webコンテンツ管理のススメ



**金融機関、官公庁で
ご採用いただいております。**

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ
(富士通SSL)

<開発元> 株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ

Copyright 2008 FUJITSU SOCIAL SCIENCE LABORATORY LIMITED

なぜ必要か IT統制＝人の統制

Webコンテンツを統制することで人の動きを統制できます

お客様へご案内の統制

人口の約7割がインターネットで情報を入手

総務省がまとめている「平成19年版 情報通信白書」によると、

インターネットの人口普及率は68.5%

⇒人口の7割近くの人がインターネットを通じて何らかの情報を得て、行動していると考えられます。



社内の統制

朝、出社したらまず社内サイトにアクセス。

企業TOPからの業務指示や、社内情報の開示は全てホームページで通知されます。



金融機関様ご参考情報

金融庁からの発表(平成20年4月18日)

金融サービス業におけるプリンシプル(別紙1)より抜粋

1. 創意工夫をこらした自主的な取組みにより、利用者利便の向上や社会において期待されている役割を果たす。
2. 市場に参加するにあたっては、市場全体の機能を向上させ、透明性・公正性を確保するよう行動する。
3. 利用者の合理的な期待に応えるよう必要な注意を払い、誠実かつ職業的な注意深さをもって業務を行う。
4. **利用者の経済合理的な判断を可能とする情報やアドバイスをタイムリーに、かつ明確・公平に提供するよう注意を払う。**
5. 利用者等からの相談や問い合わせに対し真摯に対応し、必要な情報の提供、アドバイス等を行うとともに金融知識の普及に努める。
6. 自身・グループと利用者の間、また、利用者とその他の利用者の間等の利益相反による弊害を防止する。
7. 利用者の資産について、その責任に応じて適切な管理を行う。
8. 財務の健全性、業務の適切性等を確保するため、必要な人員配置を含め、適切な経営管理態勢を構築し、実効的なガバナンス機能を発揮する。
9. **市場規律の発揮と経営の透明性を高めることの重要性に鑑み、適切な情報開示を行う。**
10. 反社会的勢力との関係を遮断するなど金融犯罪等に利用されない態勢を構築する。

金融庁が提示した [具体的なイメージ]

第4項

①利用者等の判断材料となる**情報を正確・明確に開示し、実質的な公平を確保**

②**適合性の原則**

③**利用者に真実を告げ、誤解を招く説明をしないこと**

第9項

①**市場への適時・適切な情報開示**

②**多様な利害関係者への適時適切な**情報開示****

情報開示にはWebの活用が効果的です。



効率的なWebサイト運用の検討が求められます。

内部統制ご参考情報

内部統制の基本的要素～IT(情報技術)への対応～

財務報告に係る内部統制の評価及び監査の基準並びに財務報告に係る
内部統制の評価及び監査に関する実施基準の設定について(意見書)(抜粋)

平成 19年 2月 15日

企業会計審議会(金融庁)

2-(6) イ 「統制環境の有効性を確保するためのITの利用」

ITの利用は、統制環境の整備及び運用を効率的に行っていく上でも重要となる。例えば、電子メールといったITを利用することは、経営者の意向、組織の基本的方針や決定事項等を組織の適切な者に適時に伝達することを可能にし、統制環境の整備及び運用を支援することになる。

一方で、ITの利用は、例えば、経営者や組織の重要な構成員等が電子メール等を用いることにより、容易に不正を共謀すること等も可能としかねず、これを防止すべく適切な統制活動が必要となることにも留意する必要がある。

2-(6) ニ 「情報と伝達の有効性を確保するためのITの利用」

- ① ホームページでメッセージの掲載などITを利用することにより、組織外部に向けた報告を適時に行うことが可能となるとともに、ITを利用して、自社製品へのクレーム情報等を外部から収集したりすることも可能である。ただし、組織外部への情報の公開及び情報の収集にITを利用する場合には、特に外部からの不正な侵入等に対して適切な防止措置を講じるなどの留意が必要となる。
- ② 切な防止措置を講じるなどの留意が必要となる。

① 組織外部への報告にはWebの活用が効果的です。



効率的なWebサイト運用の検討が求められます。

② 外部からの不正侵入に対しては、改ざん防御が求められます。

導入した理由

Webコア Enterprise が必要だったお客様

1

実担当部門によるコンテンツ作成が必要

- ✓簡単に情報を提供できる仕組みが必要
- ✓正確な情報を意図した時間に公開できる仕組みが必要

2

承認フローによる内部統制の確立が必要

- ✓ホームページ公開までの手順を統一し、一元管理する仕組みが必要
- ✓承認記録を残すことが必要

3

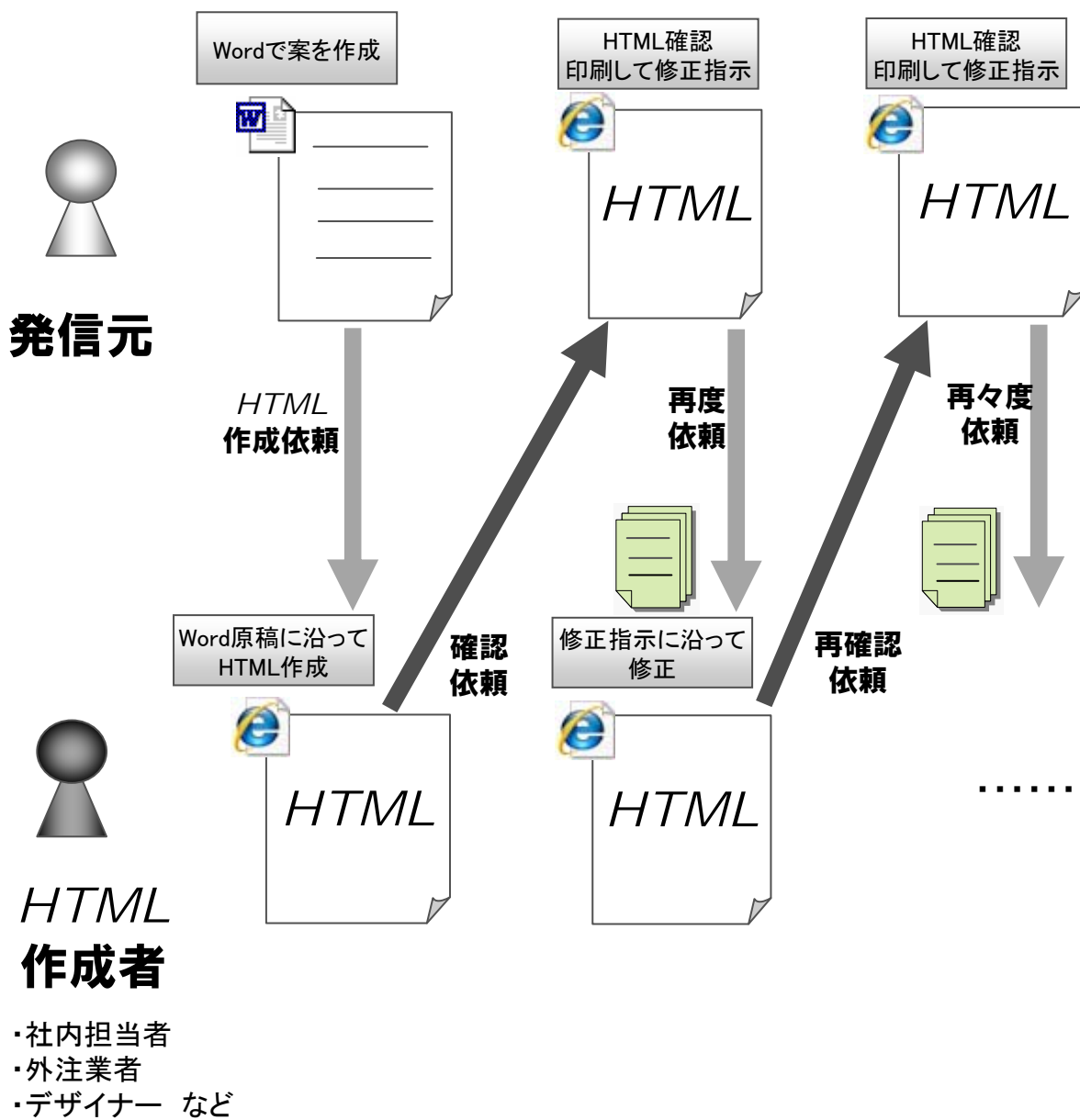
コンテンツをアーカイブし、モニタリングが必要

- ✓過去に公開したコンテンツを確認することが必要
- ✓公開履歴を保存することが必要

Before

公開スピード・正確性に乏しい

- ・公開までに時間がかかる！！
- ・正しい情報が伝わりにくい！！

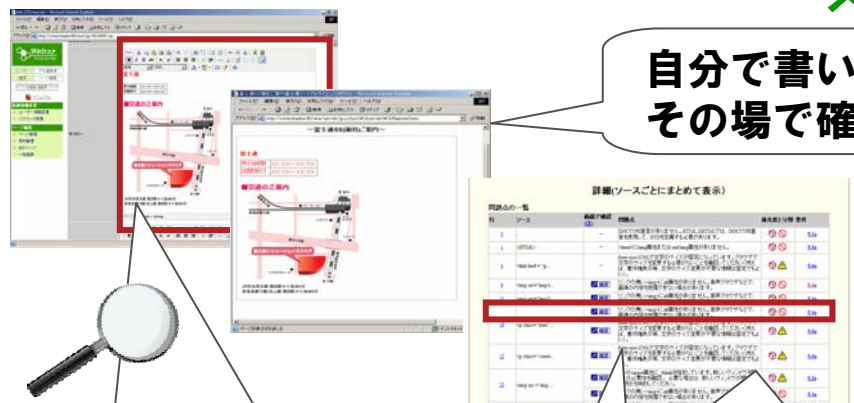
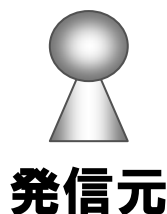


1 After

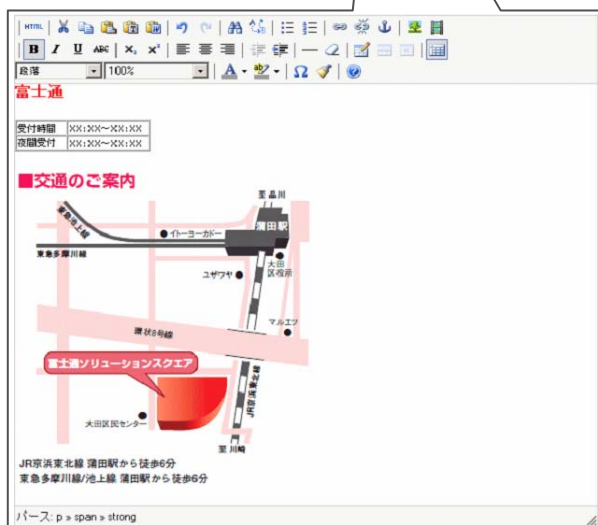
実担当部門によるコンテンツ作成

Webコア Enterprise 導入ポイント

- ✓ Word 感覚でページ作成
- ✓ 外注業者が作成したコンテンツも登録できる
- ✓ 発信元がつくるので情報に間違いが入りにくい
- ✓ 発信元が Web 公開イメージを確認できる
- ✓ ページのアクセシビリティ (P14 参照) チェックができる



自分で書いて
その場で確認



アクセシビリティ
(P14参照) チェック
ツールで確認

問題点	優先度と分類
「yy/mm/dd」という文字列があります。音声ブラウザによる誤読等も考慮し、日付は「yy年mm月dd日」にすることを検討してください。	必

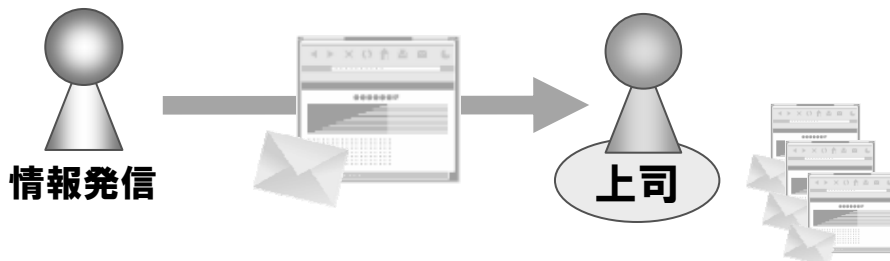
: 修正必須 : 何らかの修正が必要な問題

Before

紙ベースの承認フローの問題

- ・承認までに時間がかかる！！
- ・承認した履歴が残らない！！
- ・紙ベースで確認するので、承認漏れが発生する！！

HTMLを添付し、メールで承認依頼



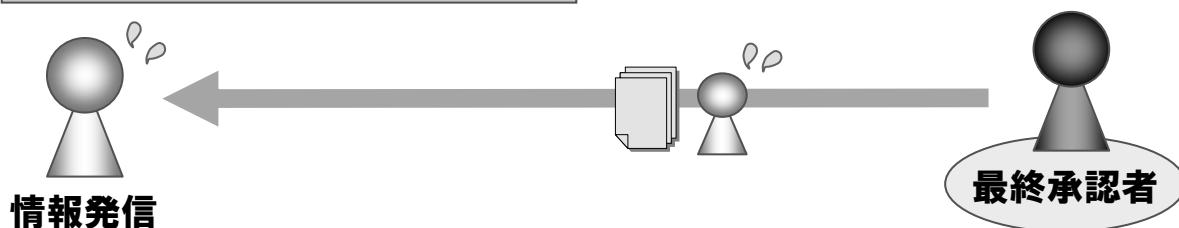
メールで修正指示



印刷したページを持参し確認依頼



印刷したページに修正箇所を指示

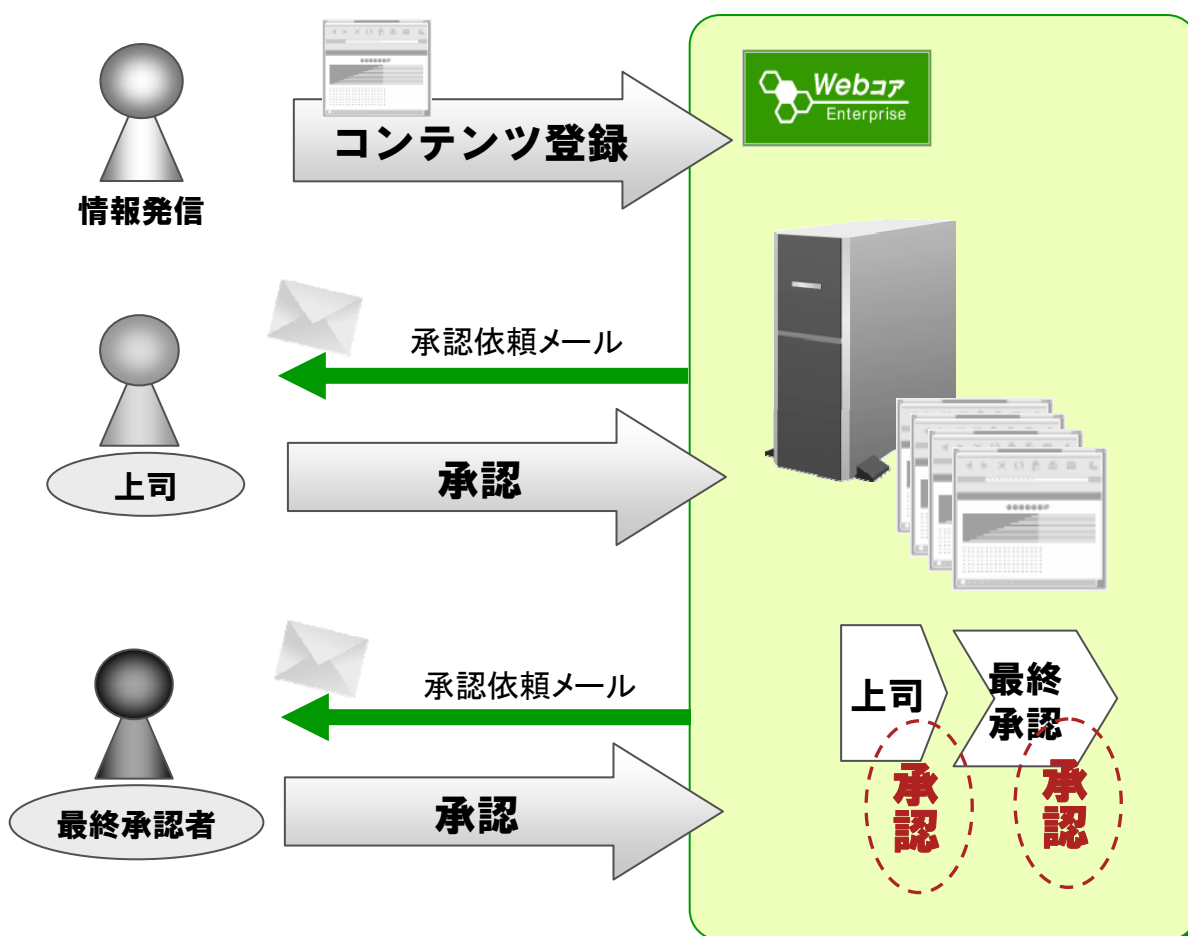


2 After

承認フローによる内部統制の確立

Webコア Enterprise 導入ポイント

- ✓ お客様の運用にあわせた承認ルートを設定可能
- ✓ Web公開イメージを確認して承認
- ✓ 承認記録や決裁状況を確認可能



公開情報の検索が困難

- ・過去に、いつ、どのような情報を掲載していたのかが不明！
- ・過去掲載情報へのお問い合わせ対応ができない！
- ・紙ベースのファイリングだと検索できない！

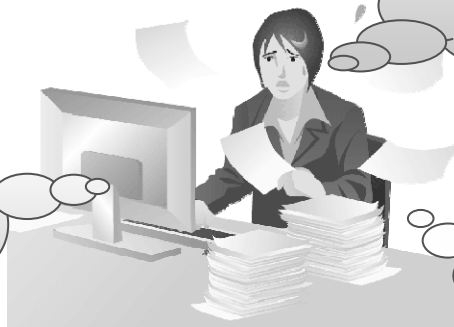
過去掲載情報への 問い合わせ

担当者
引き継ぎ

誤情報
発信

証跡
管理

リコール



過去の掲載情報は、
HTMLを印刷した紙のみ

3 After

FUJITSU

コンテンツをアーカイブし、モニタリング

Webコア Enterprise 導入ポイント

- ✓ 全てのコンテンツをいつでもモニタリング可能
- ✓ 期間指定で、公開されたページなどをモニタリング（統計情報検索）
- ✓ 日付指定（過去・未来）でサイトをモニタリング



タイムスライスビュー



プロパティ管理

誰が、いつ、何を登録更新したかを検索し、確認できます。

承認管理

承認の履歴を確認できます。

お客様の声

Webコア Enterprise に決めた理由

1. 安心な構築・サポート

- ✓ サーバからアプリケーションまで、富士通が一貫してサポート
- ✓ 弊社国内開発製品であり、開発元から直接支援を受けられるので安心
- ✓ Webサーバのアタックテストサービスから、セキュアOS **SHieldWARE** (P18参照)の構築、Webサイト改ざん検知システム **Webエイド** (P17参照)の導入までワンストップで対応

2. ユーザに優しいインターフェース

- ✓ 実際の公開画面を見ながら作成や承認、リンク切れチェックが可能
- ✓ 作成したコンテンツのアクセシビリティチェックが可能
- ✓ ご要望にあわせて柔軟に機能の追加や変更が対応可能

3. 既存のWeb環境にアドオンするだけ

- ✓ イントラ環境に全く影響がないアドオン導入
- ✓ ユーザPC環境にソフトウェア導入が不要
- ✓ 大規模サイトの管理が可能

A銀行様への適用事例

—イントラサイトでの使用—

—社内のスピーディーな情報提供を実現—

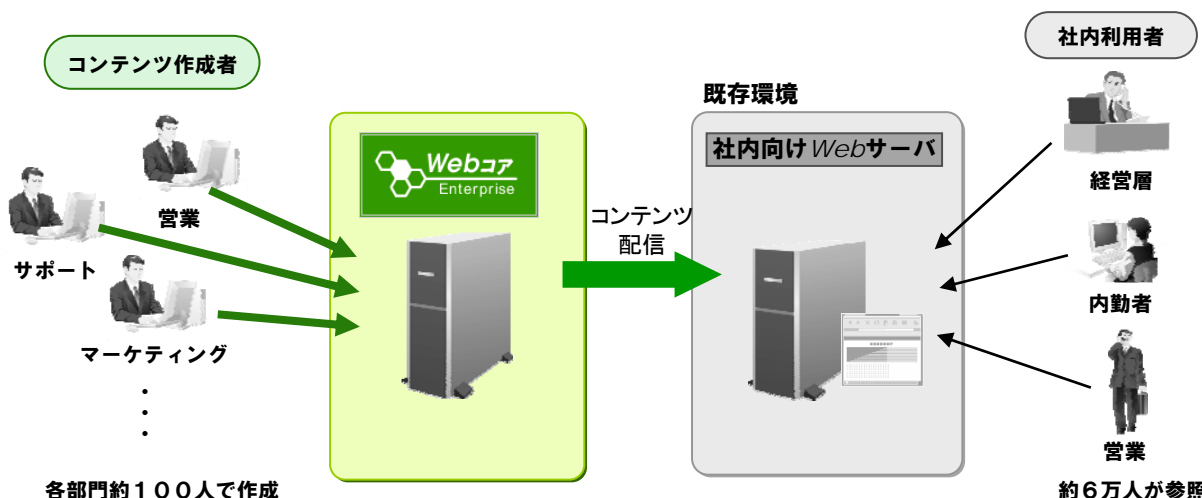
導入のきっかけ

- ✓コンテンツ管理システム(海外ベンダー製品)の更改をご検討
 - 製品の日本語対応が不完全
 - 海外ベンダーなのでサポートに不安がある
 - 操作が直感的でないので誤操作が多い
 - 社内サイトの各種情報発信で使うには無駄が多い

Webコア Enterprise に決めた理由

- ✓PC側にソフトのインストールが不要
- ✓Webサーバの既存環境にも影響を与えない
- ✓コンテンツ管理システムとしての基本機能が充実
- ✓関連ミドルウェア部分も含めた全体サポートが可能

構成



B銀行様への適用事例

－公開Webサイトでの使用－

－安全な公開Webサイト構築を実現－

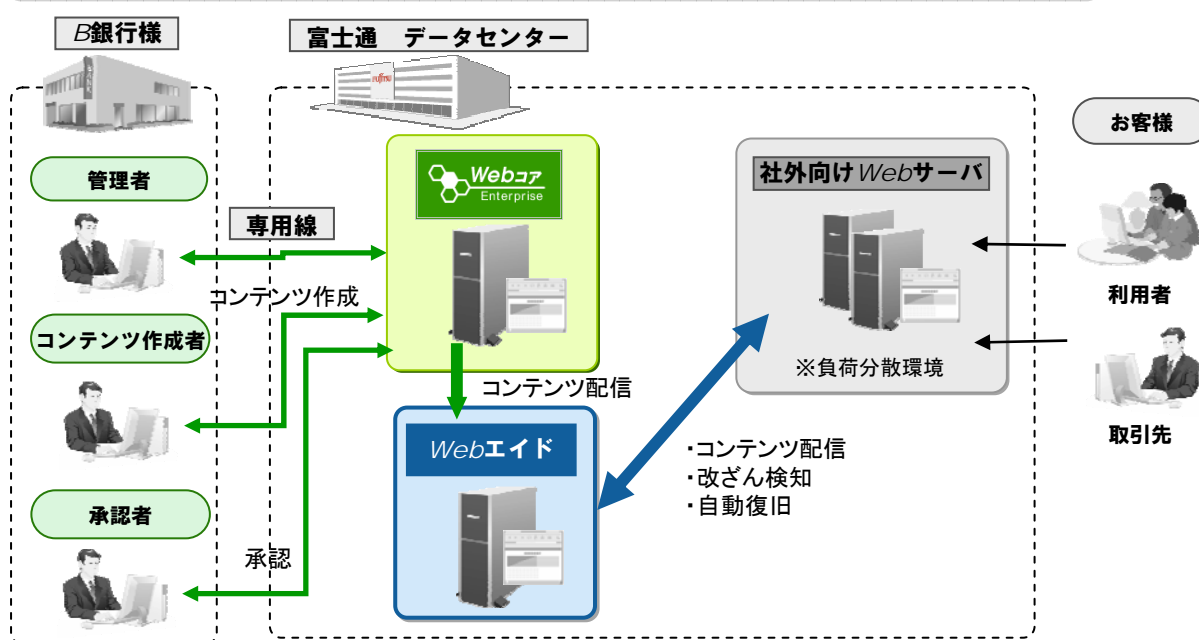
導入のきっかけ

- ✓ 承認フローを経たページを公開したい
- ✓ ページの簡単な修正を社内的人员でしたい
- ✓ ちょっとした修正でもデザイン会社に依頼していたため、費用と時間がかかっていた

Webコア Enterprise に決めた理由

- ✓ コンテンツ作成がカンタン
- ✓ 代理承認や並列承認機能など、複雑な承認フローにも対応
- ✓ 24時間・365日対応が必要なWebサイトを、すべて富士通で運用
- ✓ Web改ざん検知・自動復旧システムの **Webエイド** (P17参照)とも連携可能

構成



アクセシビリティについて

アクセシビリティ・JIS規格制定

超高齢社会の到来

2003年に国内に白内障者は900万人、色弱者は300万人と推測されております。



JIS規格の制定(JIS詳細より抜粋)

規格番号 JISX8341-3

規格名称

高齢者・障害者等配慮設計指針—情報通信における機器、ソフトウェア及びサービス—第3部：ウェブコンテンツ

制定年月日

2004/06/20

制定改正JIS概要

この規格は、主に高齢者、障害のある人及び一時的な障害のある人が、ウェブコンテンツを利用するときの情報アクセシビリティを確保し、向上させるために、ウェブコンテンツの企画、開発、制作、保守及び運用をするときに配慮すべき事項について標準化を行い、生産及び使用方法の品質の向上を図るための制定するものである。

Web活用ではアクセシビリティの確保が重要です。



Webコア Enterprise

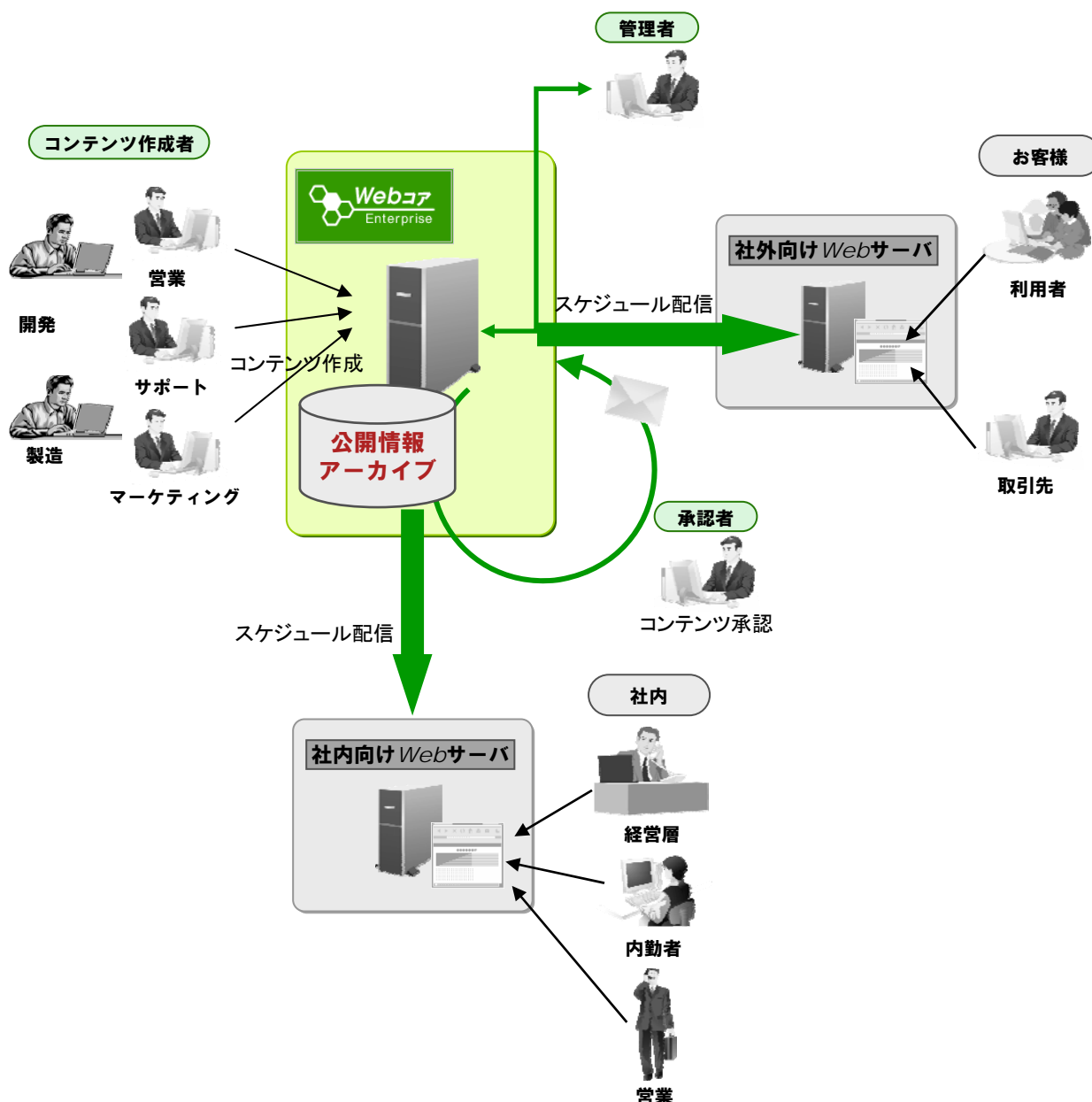
やさしい

は、JISX8341-3に則した
Webアクセシビリティのチェックができます。

システム構成例

Webコア Enterprise導入ポイント

- ✓ 既存のWeb環境にアドオンするだけ
- ✓ 複数サイトのコンテンツ管理可能
- ✓ グループ企業での利用も可能
- ✓ 社内向けサイト、社外向けサイトの両方を管理可能



販売価格／動作環境

販売価格（定価）

	商品名	標準価格 (税抜)	年間保守 ^{※1} (税抜)	備考
基本システム	WebコアEnterprise	480万円	72万円	<ul style="list-style-type: none"> ・1サーバ単位(CPU数には依存しません。) ・管理者数:1OID ・配信先サーバ数:1台
追加ライセンス	10ユーザ追加ライセンス	150万円	23万円	管理者数:1OIDごとの追加ライセンス
	配信先サーバ追加 ライセンス	50万円	7.5万円	配信先サーバ1台ごとの追加ライセンス
オプション	アクセシビリティチェック オプション	80万円	12万円	HTML、テンプレートをアクセシビリティチェック
	コンテンツ一括登録 モジュール	80万円	12万円	複数コンテンツをZIPファイルで一括登録する 機能
	リッチテキストボックス オプション	80万円	12万円	簡易ページ登録時にワープロ感覚で入力する 仕組み
	Webエイドライセンス	50万円	10万円	改ざん検知&復旧 ・サイト数:1

※1 レベルアップ版を含むパッチの無償提供、当社営業時間内のQA対応となります。

管理者数が多い場合は、お問い合わせください。

動作環境

【サーバマシン要件】

OS	CPU	メモリ
Solaris™ 8 Operating System	UltraSPARC3 400MHz以上	2GB 以上
Windows 2000/2003 Server	Pentium3 2GHz 以上	2GB 以上
Red Hat Enterprise Linux ES(v.3)	Pentium4 2GHz 以上	2GB 以上

※お客様のご要件に応じて、選択できます。

【クライアントマシン要件】

Windows 2000/XP 日本語Microsoft InternetExplorer 6.0以上

一緒に導入検討したい製品

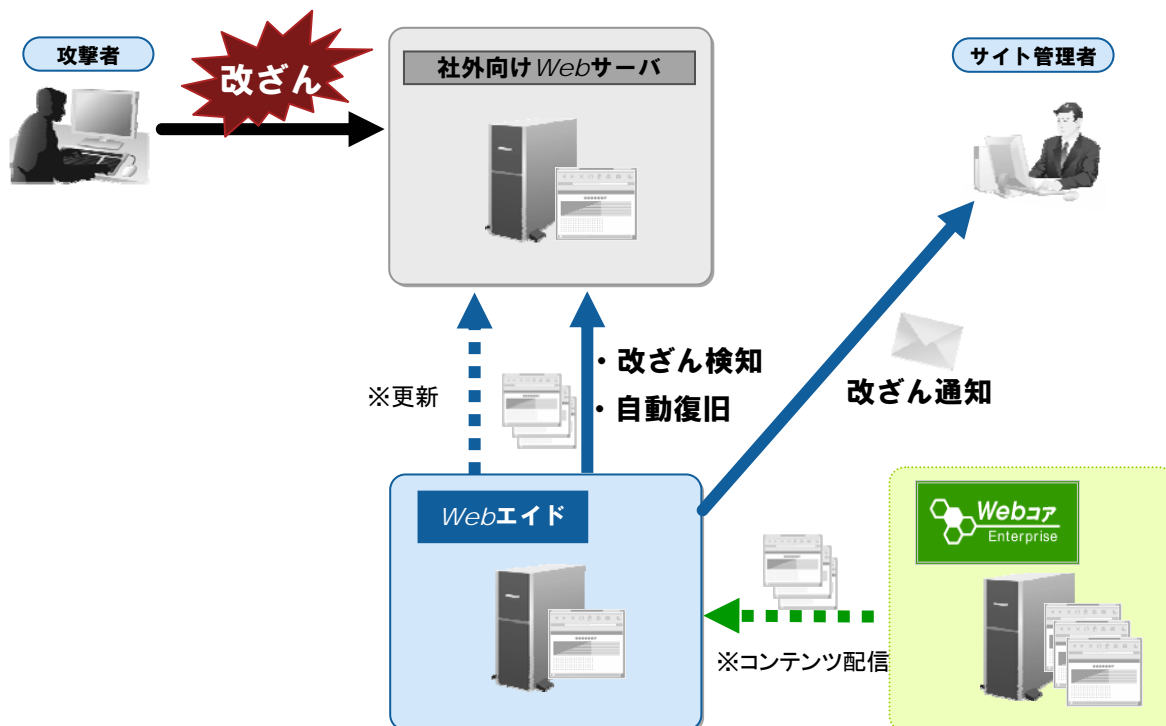
Web改ざん検知・自動復旧システム

Webエイド

Webコンテンツには**改ざん検知・自動復旧**する仕組みが必要です。

Webエイド なら

- ✓タイムリーに**改ざん**の事実を把握することができます。
- ✓改ざんされたWebコンテンツの**自動復旧**が可能です。
- ✓インストール・設定が**非常に簡単**(約30分程度)です。
- ✓Webサーバの設定変更は不要です。



「Webエイド」は管理者権限の乗っ取り防御には対応していません
 管理者権限乗っ取り防御には「SHieldWARE」が対応しています

(※)改ざんが無い場合の
 通常の動作

サーバに鉄兜を着せる SHieldWARE

Webサーバには**改ざん防御**、**不正アクセス記録**が必要です

SHieldWARE なら

- ✓Webサーバの管理者権限（root,Administrator）の乗っ取りを防御し、外部からの不正な侵入によるWebサイトの**改ざんを防ぎます**。
- ✓内部統制に必要な、外部からの**不適切なアクセス記録**を取得できます。



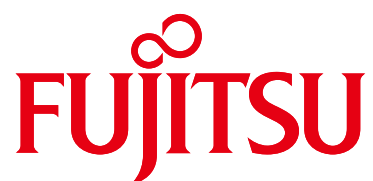
←ご紹介資料もご用意しています

アタックテストサービス エクスプレス

Webサーバの**セキュリティホールを事前に発見し**、**対策を打つ**ことが必要です。

アタックテストサービスは

- ✓お客様の公開サイトのセキュリティレベルを客観的に評価します。
- ✓**セキュリティホールを事前に発見**、**対処方法をレポート**します。



THE POSSIBILITIES ARE INFINITE

Webコア Enterpriseに関するお問合せは

FUJITSU 富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ

〒211-0063 川崎市中原区小杉町1-403
マーケティング本部 ソリューション推進部

Eメールでのお問合せはこちらまで ssl-info@cs.jp.fujitsu.com

TEL (044) 739-1251
URL <http://www.ssl.fujitsu.com/>

この製品のURL

http://www.ssl.fujitsu.com/products/website/wc_enterprise/

カタログに記載の会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。
記載の内容は2008年12月現在のものです。

名刺貼付

2008.12.19